

## 大阪府営業時間短縮協力金（第8期）

**Check!** 9/1~30 までの間、休業または時短営業に応じた店舗

売上高に応じて一店舗 1 日あたり **4~10 万円 × 30 日間 支給**

**申込期間 9/24（金）~11/4（木）**

小規模事業者の方向けに、大阪府行政書士会や商工会議所を通じた、専門家による申請サポートも行われています。詳しくは大阪府ホームページをご覧ください。

また、野々上愛事務所でもご相談を承っています。一人で悩まず、お気軽にご連絡ください。



大阪府営業時間短縮協力金ページ

大阪府 協力金 8期

検索



**Check!** ブルーステッカー？ ゴールドステッカー？

1 月から始まった大阪府内全域での飲食店への時短・休業要請に対する協力金事業は、1 兆円に迫る全国有数の予算規模になっています。

一方、大阪府の協力金支給スピードは全国ワースト1。また、協力金の支給要件となっている感染防止宣言ステッカー（ブルーステッカー）や、まん延等防止重点措置の期間中にアルコール提供が可能になる感染防止

認証ゴールドステッカーなど、多くの手続きが事業者のみなさんに課されています。

待てど暮らせど入金されない、書類があまりにも複雑でお手上げ、という声も多く聞きます。適正な手続きは必要ですが、何より休業・時短要請に応じている飲食店や関連事業者のみなさんに確実に、速やかに届く支援策が必要です。



### # ののあいスペース

だいたい毎日 20:45 から大阪の最新情報をお話します

SNS の Twitter のスペース機能を使って、ほぼ毎日 20:45~、15 分程度、ののうえ愛が最新の大阪府政情報についてお話しします。お時間のある時にどうぞ視聴下さい。 @nonouelai

### ののうえあい\*1977 年高槻生まれ

阿武野幼・小・中、三島高卒。関西外大短大卒、龍大法を経て、同志社大院で住民投票条例を研究。2003 年より高槻市議（4 期）。副議長、監査委員などを歴任。若者の政治参加、環境、交通政策、子育て支援や市民参加などに取り組む。脱原発、安保法制反対、大阪都構想反対運動など、平和・非戦・自治をめぐる市民運動にも積極的に参画。2019 年、高槻・島本選挙区から大阪府議に初当選。民主ネット大阪府議会議員団代表、警察常任委員会所属。現在、議員活動と 2 児の育児、親の介護に奔走中。

### 事務所のご案内

緊急事態宣言は解除されましたが、「新しい生活様式」を踏まえつつ、事務所運営や政治活動についてもこれまでと違った対応が必要になり、思案中です。みなさんからの相談も、直接対面でなくても、お電話、メール、オンラインでお気軽にご相談下さい。

発行 大阪府議会議員ののうえ愛事務所  
〒569-0071 高槻市城北町 1-5-23  
エクセレント城北 2F

TEL 072-669-7790

FAX 072-669-7794

Mail info@nonouelai.net

Web www.nonouelai.net/

ブログ更新中



@nonouelai @nonouelai



# ののうえ愛 News 2021.10.1

NONOUEAI NEWS WINTER



## 新型コロナ対策を求める要望書提出

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、間もなく 2 年に及ぼうとしています。ワクチン接種が進んでいる高齢層を中心に、感染状況は落ち着きつつありますが、若年層や全体の感染傾向は爆発状態です。特に、夏休み後の子ども達の間での感染拡大は深刻です。来たるべき冬のシーズンに備え、また新たな変異株への対応もイメージしつつ、これまでの失敗に学び、さらなる対策が必要です。

しかし、大阪府の行政は楽観論に立って目前の危機を過小評価し、感染拡大が深刻化してから慌てて対応してきましたが、その多くは焼け石に水の状態でした。

日本は比較的感染が抑えられている方だという見方がありますが、これは島国という特徴と、市民の

みなさんの自発的な衛生管理のおかげである可能性が高く、同じ島国であるニュージーランドや台湾に比べると、感染管理は失敗しています。特に大阪では人口当たりの死亡者数が全国一多く、抜本的に対策を見直す必要があります。

民主ネット大阪府議会議員団では、この間数度に渡り、市民のみなさん、事業者のみなさんからご意見をうかがいながら、新型コロナ対策を求める要望書を、吉村知事あてに提出しました。

その一部は実現に漕ぎ着けることができました（下図参照）。今後も、みなさんのご要望を府政に繋げていきたいと思ひます。どうぞみなさんの声をお聞かせください。

### 民主ネット大阪府議会議員団の主な要望とその後の対応

飲食店以外の幅広い事業者への支援

国の月次支援金への  
上乗せ支給の対象事業者を拡大

実現

新型コロナにより影響を受けた、公共交通事業者への支援

これまで市町村任せだった公共交通対策に府としても乗り出す

実現

医療・検査体制の拡充

医師会等との連携による病床の確保、  
スマホ検査センターの対象拡大

一定の進展あり

ワクチンを担う市町村支援の強化

全府民を対象とした大阪府の  
大規模接種センターは大阪市内にしかない

今後の課題

飲食店時短協力金、  
全国ワーストの支給スピードの改善を

委託体制の改善や府職員による  
チェック体制の強化に着手するも、  
大幅な支給速度改善には至らず

今後の課題

## 本会議質問 委員会質疑

### どうなったの？大阪産ワクチン エビデンスに基づいた政治を求め

吉村知事が再三宣伝してきた大阪産ワクチン開発には、科学と政治の関係という意味で大きな問題がありましたので質問しました。知事は、大阪産のコロナワクチンが開発できると再三主張してきました。当初は 2020 年内に十万、二十万回の接種が可能だと述べ、その後 2021 年春以降になると軌道修正をはかりました。しかし、2021 年 9 月現在、このワクチンは実用化されていません。基礎的な研究を積み上げることは、実用化の時期に限らず重要ですから、府として研究を支援することは間違いではありませんが、未だ開発されない技術に頼り、他の対策が疎かになるのは論外です。政治が科学知識を利用する際は、複数の専門家に助言を仰ぎ、エビデンスに基づいた政策になっているか検証しながら進めることが必要です。このことについて、府が改めて検証することを求めました。

(2020 年 12 月 2 日 本会議質問から)



### 裾野の広い文化・芸術支援を #we need culture!

新型コロナウイルスの影響を受けたライブハウスや小劇場等の施設は、非常に厳しい営業状況が続いています。ライブハウスやクラブカルチャー、小劇場演劇について、業界団体のみなさんからお話をうかがい、質問をしました。以前のように集客できない、オンライン配信ではなかなか収益化できない、など状況は深刻です。ライブハウス、クラブ、劇場等は地域文化を支える基盤となる大切な文化施設です。今、大阪の小屋文化やナイトカルチャーが廃れてしまいかねない瀬戸際に立たされています。零細事業者や、個人事業主のアーティストに幅広く届く支援策の実施を求めました。

(2021 年 3 月 12 日府民文化常任委員会質疑から)

### インターネット会議録案内

質問の全文、また他の質問項目は大阪府議会ホームページ議事録検索からご覧いただけます。

大阪府議会 会議録

検索

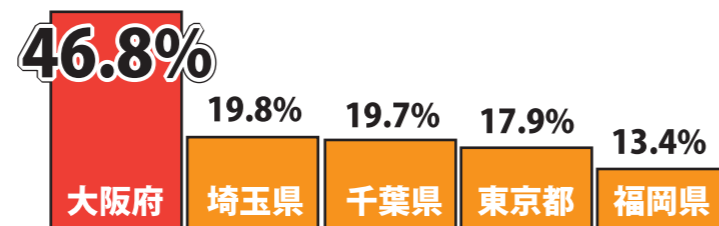


## 議会軽視の大阪府政 専決処分全国ワーストワン

昨年度は、新型コロナ対策のため、相次ぐ補正予算が計上されました。大阪府でも当初予算 2 兆 6 千億円に対し、実に 18 回の異例の補正予算が計上され、最終的に総額 4 兆円規模になりました。これら補正予算の審議に際して、**議会での議論を経ずに知事が独断で決めてしまう「専決処分」**の割合、金額ともに大阪府が全国ワースト 1 となっていました。府民目線のチェックが働かない事が協力金の支給の遅さや、コロナ対策のミスマッチに繋がっているのではないのでしょうか。緊急時だからこそ、政治・行政の都合ではなく、府民の目線での施策が必要です。

### 都道府県 専決処分率 ワースト 5

2020 年度の各都道府県の補正予算に占める専決処分の割合



(参考) 政令市 専決処分率 ワースト 3

大阪市 (86.9%)、堺市 (84.2%)、名古屋市 (74.4%)

## みる きく つたえる ののあい活動報告

### みる 櫻田地区 災害復旧現場視察



流木撤去が続く復旧現場



大阪府森林環境税を活用した治山ダム



2018 年の台風 21 号の大きな被害を受け、昨年 7 月の長雨で再び土砂災害に見舞われた高槻市北部の山間地域では、今もなお復旧作業が続いています。

8 月に、櫻田地域の山林の復旧工事の状況や、新たに設置された溪流の治山ダムを視察しました。激甚災害指定を受けた高槻での復旧事業には、国費が投入されているほか、大阪府の森林環境税も活用されています。台風被害が発生した当時、市議として大阪府へ要望したことが形になっている現場を確認しました。

今後、風水害被害は増えることが予想されます。しっかりと治山対策を進めていきます。

### きく コロナ対策にあたるみなさんの現場の声を聴く

新型コロナウイルス対策の最前線で尽力される、医療従事者や交通事業者などのみなさんが働く現場にお邪魔し、切実な声をお聞きしています。

新型コロナに関わる医療現場のみなさんからは、その厳しい実態と、特に女性が多く働く現場であるという特性に応じた支援策を府に求める声をお聞きしました。

交通事業者のみなさんからは、感染症対策はもちろん、地域の足としての公共交通を守っていくために、まずは大阪府が公共交通現場の実態を把握し、独自の支援策を求める声をお寄せいただきました。

現場で働くエッセンシャルワーカーのみなさんの声を府政に届け、共に頑張ります。

ワクチン集団接種会場を視察



エッセンシャルワーカーのみなさんによる府庁への要請行動に同席



### つたえる オンラインで活動報告

事務所の一角を手作りでオンライン配信スタジオ風に改装



新しい生活様式も徐々に定着してきました。議会報告や活動報告もオンラインを活用して皆様にお届けすることが増えてきました。事務所の一角をスタッフやボランティアのみなさんでスタジオ風に改装していただきました。オンラインでの活動報告も充実させていきます。